

星をみよう!!

観望会のご案内

札幌市青少年科学館

問い合わせ：011-892-5004（科学館天文係）

★昼間の星をみよう

日 程	土曜日 11:45～12:15 (受け付け 1 階エントランス 9月10:30～、10 月11:00～)
場 所	科学館屋上天文台
観望対象	金星、アークトゥルス、ベガ等
定 員	先着15名

★科学館天体観望会

日 程	9月9日(土) 20:00～21:30
場 所	科学館正面玄関前
観望対象	月、夏から秋の星座の星
日 程	10月21日(土) 18:30～20:00
場 所	科学館正面玄関前
観望対象	夏から秋の星座の星

札幌市天文台

問い合わせ：011-511-9624（札幌市天文台）

★昼間公開

日 程	火曜日 10:00～12:00 水曜日～日曜日 10:00～12:00、14:00～16:00
観望対象	太陽

★夜間公開

日 程	●9月 19:00～21:00 15日(金) 16 日(土) 17日(日) 18日(月祝)
観望対象	夏から秋の星座の星
日 程	●10月 19:00～21:00 ①4日(水)※中秋の名月 5日(木)6日(金)7日(土) ②27日(金)28日(土)29日(日)
観望対象	①月、夏から秋の星座の星 ②夏から秋の星座の星

プラネタリウム利用案内

プラネタリウムの内容は、職員による星空生解説 + プラネタリウム番組 の計50分間です。
(「おぼけのマールとゆめのとびら」「ほしをつかまえたあうじ」は計30分間)

★プラネタリウム入場時刻(9・10月)

		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
9月	平日	9:10 団体専用 番組は団体の希望による	10:25 団体優先 ほしをつかまえたあうじ	11:40 団体優先 ビリオン・サン	13:00 おかしなお菓子なあまのがわ	14:15 銀河鉄道の夜	15:30 今日の星空(生解説のみ)
	土・日・祝	9:40 銀河鉄道の夜	10:50 おぼけのマールとゆめのとびら	12:00 ビリオン・サン	13:15 おかしなお菓子なあまのがわ	14:30 銀河鉄道の夜	15:45 今日の星空(生解説のみ)
10月	平日	10:15 団体専用 番組は団体の希望による	11:30 団体優先 おぼけのマールとゆめのとびら	12:45 団体優先 ビリオン・サン	14:00 銀河鉄道の夜	15:15 今日の星空(生解説のみ)	
	土・日・祝	10:15 銀河鉄道の夜	11:30 ほしをつかまえたあうじ	12:45 ビリオン・サン	14:00 銀河鉄道の夜	15:15 今日の星空(生解説のみ)	

★プラネタリウム番組

ほしをつかまえたあうじ こんな方におすすめ ちいさなお子さまと保護者 「ほしにねがいをいえばゆめがかなう」あうじはほしをつかまえて、なにおねがいですのしょう。札幌在住の絵本作家そら氏原作。 当館オリジナル番組	おぼけのマールとゆめのとびら こんな方におすすめ ちいさなお子さまと保護者 「おぼけのマール」がプラネタリウムにやってきた！マールが星のお勉強…と思いきや！カワイイ冒険のはじまりです。 当館オリジナル番組	おかしなお菓子なあまのがわ こんな方におすすめ 小学校低学年以上 白くほんやりと見える天の川。ケーキ屋さんのホイップと、魔法使いのミルクーが宇宙に飛び出して天の川の正体にせまります。 当館オリジナル番組	ビリオン・サン ー星空3次元マップを作れー こんな方におすすめ 小学校高学年以上 (天文分野の専門知識に触れたい方) 10億個の太陽の位置を調べて、天の川銀河の立体地図をつくる…。人類の新しい宇宙への挑戦！ 	銀河鉄道の夜 こんな方におすすめ 小学生以上 宮沢賢治原作の「銀河鉄道の夜」をKAGAYA氏がプラネタリウム番組化。鉄道が星座や銀河の中を走り抜けます。
「今日の星空」 こんな方におすすめ 小学生以上 (星空解説をたっぷり聞きたい方)	全編職員による生解説。当日の星空や旬の話題をたっぷりお届けします。約2ヶ月毎に変わるテーマ解説として、「土星」についても紹介します。			

※投影の中止または内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。
※開演の5分前に発券を終了いたします。開演後は入場できません。(各回定員200名)
※Tモード付き補聴器で、音声を拾うことができます。

休 館 日	9/4・11・19・25・26、10/2・10・16・23・30・31
観覧時間	5月～9月：午前9時から午後5時まで、 10月～4月：午前9時30分から午後4時30分まで (入館は閉館の30分前まで)

観覧料	大人	中学生以下	
展示室	700円(500円)	無料	※()は、敬老手帳、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示の方。
プラネタリウム	500円(360円)	無料	

— 科学の今と未来をつなぐ —
札幌市青少年科学館
Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目
TEL:011(892)5004 FAX:011(894)5445 ホームページ: <http://www.ssc.slp.or.jp/>



札幌市青少年科学館天文リーフレット

星空散歩

2017年
9・10月号
Vol.73



今回の表紙写真は「IC1396」

撮 影：札幌市青少年科学館 天文係 林 美輝
撮影日：2015年9月2日
撮影地：新篠津村
データ：タカハシFSQ106ED+EOS6D

北極星とカシオペア座の間にあるケフェウス座の中に輝く大きな散光星雲です。
肉眼で見ることにはできませんが、写真写りはよく、星雲の中にかくさんの暗黒帯が走っているのが分かります。

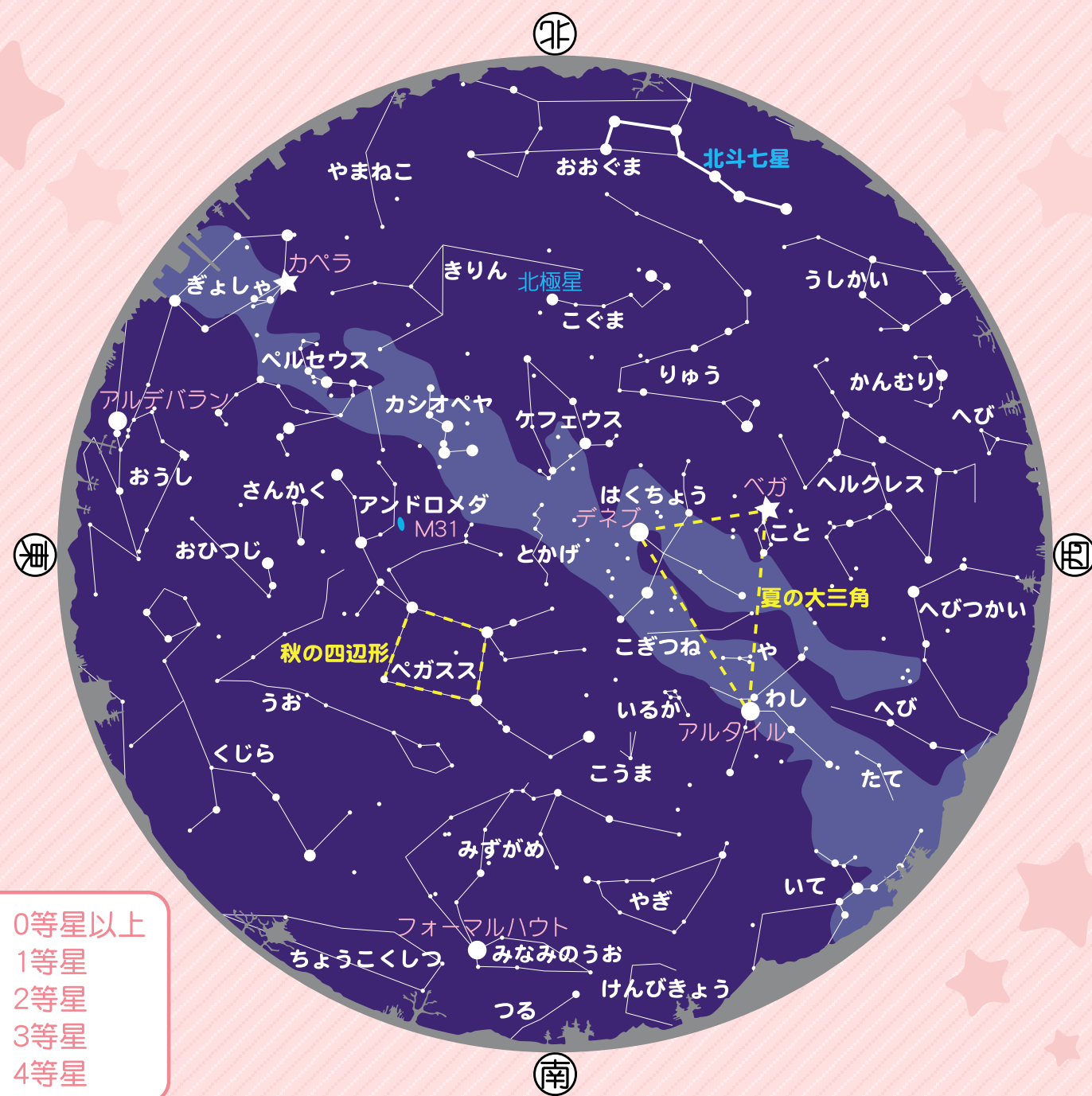
中秋の名月

秋といえばお月見ですね。「中秋の名月」という言葉を聞いたことはありますか？昔の暦では7月～9月が秋でした。そのちょうど真ん中の8月15日の月を「中秋の名月」と呼んでお月見を楽しみました。

今年の「中秋の名月」は今の暦では10月4日ですが、満月はその2日後です。「中秋の名月」は必ずしも満月とは限りません。次に満月が「中秋の名月」になるのは2021年です。札幌市天文台でも夜間公開を行います。すぐしやすい秋の夜に月を見てみませんか？



2017年9・10月の空



- ★ 0等星以上
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

秋の空には、Wの字を描くカシオペヤ座がひときわ目立って見えます。カシオペヤ座は古代エチオピア王妃の姿を現した星座です。北極星を中心に北斗七星の反対側に位置しています。

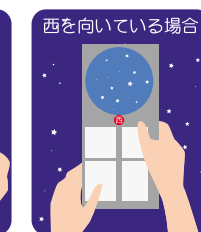
また、4つの星が形作る大きな四角形が目につくでしょう。これが「秋の四辺形」です。秋の四辺形は、空駆ける天馬、ペガスス座の胴体を形づくっており、近くにはアンドロメダ座の姿も見つけられます。

星図の使い方

①星図は空にかかげて使います。



②空にかかげたら、自分の向いている方角と星図の方角とを合わせて星を探しましょう。



星図のように見える時刻

9/1 23時ごろ

10/1 21時ごろ

※惑星はこの時間、見る事ができません。

月の	○満月	9/6、10/6	●下弦	9/13、10/12
かたち	●新月	9/20、10/20	●上弦	9/28、10/28

オリオン座流星群

10月にも流星群観望のチャンスがあります。10月21日の20時がピークのオリオン座流星群。今回は月明かりもなく、とてもおすすめです。ちょうどオリオン座のある一点から飛び出してくるように見えるのでそう呼ばれています。この点を放射点といいます。

オリオン座流星群はハレー彗星の通り道を地球が通る時に、彗星の残した塵が地球へ降ってくることで起こります。彗星の落し物、流れ星を探してみましょう。



せいざのみはなし

みなみのうお座のおはなし

秋の星座の中に輝く唯一の1等星のフォーマルハウトは、南の低い位置にあることから、日本では、「南の1つ星」と船乗りから呼ばれていました。フォーマルハウトから西側に台形を描いてできるのがみなみのうお座です。

ギリシャ神話では、神々が岸边で宴を開いていた席に、怪獣テュフォンが乱入し、驚いた神々は動物に化けて逃げました。みなみのうお座は愛と美の女神アフロディーテが魚に変身して逃げた姿だと言われています。

<みつけかた>

天頂近くにあるペガスス座の「秋の四辺形」がみなみのうお座探しの目印になってくれます。秋の四辺形の西の辺を南にずっと延ばしていくと、明るいフォーマルハウトが見つかります。その周りの星をつないで形作るのがみなみのうお座です。

9月…23時ごろ 南の空
10月…21時ごろ 南の空

